

投てき競技の安全対策 チェック項目

大阪高体連陸上競技専門部

投てき場所が確保されているか？（十分な広さがあるか。）

- ・特に他の部活動クラブとの場所区分けがされているか確認
- ・練習場所がわかるようになっているか（コーンなどで区切る）
- ・ネットなどが正しくセットされているか。（ゲージなど）

天候なども考慮して安全対策を行っているか？

- ・投てき物（やり・円盤）によっては予想以上に着地場所から滑るなども考慮する。

投てき物の扱いに注意を払っているか？

- ・投てき物（投てき物本体やグリップ）が濡れたままの状態で行うと予想しない方向に飛ぶ場合があるので、しっかりと布等で拭うこと。（また滑り止めを利用する）
- ・転がってきた砲丸は足の裏で止める。
- ・槍を保持して動作を行う場合、前方だけでなく周囲（特に後方）にも注意を払う。
- ・地面に刺さったやりを抜く際には自分も含めて周囲に注意を払う。
- ・ハンマーはピアノ線とハンドルやハンマー頭部との接合部の劣化などに注意を払い、場合によりピアノ線を交換してターン中に切れるなどを未然に防ぐこと。

投てきの際は声で知らせているか？

- ・投げる前に大きい声で知らせる。（合図を送る）
- ・聞こえているか確認する。（相手に届いているか、周囲を注目させているか）

投げる直前に再確認しているか？

（もう一度、人がいないか確認〔他者を配置できればなおよい〕）

- ・競技場所を横切らせない。

以上のことを部員に徹底し習慣化させているか？

以上の内容を共存活動する他の運動部員や顧問へ理解してもらっているか？